

2026年5月12日

金融機関を装ったボイスフィッシングによる不正送金にご注意ください

電話やメールを巧みに組み合わせた手口による不正送金が増えています。特に、金融機関の職員などを騙る犯人が電話でフィッシングサイト（偽サイト）へ誘導し、口座のログインパスワード等を入力させて不正送金を行う「ボイスフィッシング」の被害が急増しています。

ボイスフィッシングの手口として、銀行の社員等を騙り、電話にてメールアドレスを聞き出します。このような行為はすべて詐欺を疑ってください。

また、第三者からの指示で偽サイトへパスワード等を入力したり、口頭で伝えたりすることは絶対に行わないようお願いいたします。

●確認されている手口の例

- ① 犯人が銀行の社員などを名乗って電話をかけ（自動音声の場合あり）、メールアドレスを聞き出す。
- ② 犯人がフィッシングサイトのURLや2次元コードを記載したメールを送信し、電話で指示しながら正当なサイトを模倣した偽サイト（フィッシングサイト）へ誘導する。
- ③ 偽サイトでインターネットバンキングの情報等を入力させ、IDやパスワード等を盗み取る。
- ④ 偽サイトに入力させた情報を使い、犯人が不正に口座から送金を行う。

●被害に遭わないために

- ・ 心当たりのない電話番号や国際電話（「+」で始まる番号）からの着信には、細心の注意を払い、慎重に対応してください。
- ・ 不審なメールが届いたら、記載されているURLや2次元コードには絶対にアクセスしないでください。
- ・ 十六銀行の社員がパスワードや暗証番号等をお尋ねすることは一切ございません。 そのような電話（自動音声を含む）やメールはすべて詐欺ですので、絶対に教えないでください。

万一、被害に遭われた場合は、下記連絡先および最寄りの警察署へご通報ください。

【不正利用時など緊急のご連絡先】

電話番号	受付時間
0120-69-5416	24時間365日

以上